

発行所
友愛青年連盟
東京都文京区音羽 1-7-1
電話 東京(941) 2801
発行人 田中恭一
編集人 松井壯一
定価 1部70円

各事業とも順調に

いよいよ、一〇月一五日からは第八回友愛アジア青年指導者セミナーが、東南アジア五カ国及びミクロネシアからの参加者二名を迎えて開始される。友愛社会開発セミナーも各地で活発に開催準備に入っており、全国で充実した開発セミナーが実施される予定である。またタイからの指導者招へい事業も各支部の熱心な受入れにより順調に進行している。（関連記事二面）

準備体制が整う

第8回友愛アジアセ ミナー	
(二月一日)五日、夜泊、一八日早 は郷内において表敬訪問、討論 を行なひ、一八日二日大 県別府支部(脇眞雄会長) 二四日は横根松生支部 吉田進会、二四日、天 長で受入れを行ない、三日 三日郷内に現着せしを實施 するに帰す。	講 師 出山秋民 ○シテレ解題員 ○国際社会と青年の 役割
開催テーマ 担当 那桐順 池眞興 連絡先 二九三那桐市量崎 山下二四〇九八八一〇 (〇勤務)	
尾市市民友愛社開発セミナー 期 日 二月一日(金)	講 師 大塚兵衛氏 (評論家)
会場 尾市公会堂	

中青連30周年

あり方を再検討

講演会実施予定組は次の通り ○田野村友愛社館開発セミナー 期 日 一月六日(金) 会 場 田野村中学校コニニ 講 師 渡辺博史氏 (流連連大教授 開演テーマ 若者は……)		美郷町本郷一九七三〇八 四八四・八七四五 ○武市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月廿一日 講 師 志茂 担 当 武志郎 田中弥雄 連絡先 二九五 福原武生 市青野町六八二四・〇七 八三三七五三		中央青少年団体協賛会(中 青連・中央会)主催は、今年が 創立一周年、そこで中青連は 記念のどいや青少年団体振興者 研究協議会の開催、そして少年 団体史の発行などの記念事業を行 なうこととしている。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		中青連は一九五五年、加盟組 をもつ青年団体の連絡組織として 設立。現在、加盟団体は二 三、六會員数は、一四、〇万 人に達する。この間、国内外で 広範な活動を展開して来だが、近 年、中連は加盟団体の進調整 やインフォーマションセンターと しての事業の機能強化をべきた	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		さうとするもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元		と研究協議が計画された。 この事業は、青少年団体振興 や学識経験者による会談から 後の中青連・青少年活動の方 らへつてくるもので、今年組織 に五回の会合が予定されている その第一回は、水迫雄氏 文部大臣を講師招き「新 教育と青年団体活動」の期 題とする講演を予定する。	
○那覇市社会福祉センター 期 日 一月廿七日(土) 会 場 自衛会館		○市友愛会館開発セミナー 期 日 五年三月三十日 講 師 渡辺博史氏 担 当 八支部 山本敏昭 連絡先 二〇三二 青森 県八戸市内野大仏三三 〇七八・一七六六元			

情報交換等を行なうもの。
日日程で、講演・討議・活動
友愛社会開発セミナー講演会
ひ研究協議会の開催希望組織は
部までご連絡下さい。

(指導者招へい事業)

タイより来日中のカセツアー
大學生、ヌンタワン・リュウソ
チョツチューンさん（サイアム
年クラブ所屬）は、現在、元氣
研修旅行中である。

尾道友愛山莊・日本
YHより感謝状を！

(原文) 昭和二年、日本
ース・ホステル協会が我国に誕
し、本年で三〇年を経過いたし
した。

サンフランシスコ平和条約締結の記念すべき年にスタートしたの運動は、永い歳月の中を一歩歩着実に歩んでまいりましたがこれもひとえに皆様方のご協力賜でございます。

このたび協会創立三〇周年に
たり、あなたの多年にわたる貢
献に感謝し、記念の品を贈呈申
上げます。

昭和五十六年一〇月二一日
ユースホステル東京友愛山荘

財団法人日本ユース・ホ
テル協会
会長 桜内義雄

第7回鳩山会長杯争奪

友愛全日本英語弁論大会参加者募集／

今日、世界の協同と発展を促すため、分野での交流と協力の活動が展開されています。その中で、国際化交流は、益々拡大されはれています。本大会は、言語の障害を乗り越え、文化交流の推進に寄与する若き國人を育成することを目的とします。

資格年齢以下。各 プ1本。
大学の英語サークルの代表1 ◇締 切 11月10日
(決勝大会 日時、12月13日
場所、国立オリンピック記念
また原稿は月刊「ゆうあい
び本連盟主催海外研修の機

名、または各英語学校の代表 1名。
 ◇審査方法 (予選) 11月中旬 青少年総合センター、内容、誌上に発表する。
 に行なう審査委員による原稿 ①7分間ブリペアードスピー
 問い合せ先、〒112東京都文

参加方法 参加希望者は、参
加申込書、7分間ブリペー
の決勝大会出場者を選考し、
審査(テープを含む)で10名
チ。③QUESTION AN
D ANSWERS 区賞177、031
四二一〇八一

トスピーチの原稿3部、ブリ
ペアドスピーチの録音イ
る。結果は本人宛に文書で通知す
◇賞 優勝者には外務大
臣賞、鳩山会長賞の授与、及

第17次友愛東南アジア
使節団員募集！

開発途上にあり、我国との関係も益々重視されて来ている東南アジア。その理解を深め、青年交流で友愛の絆を結ぼうとする第17回の友愛使節団です。今回は、13日間で3ヶ国訪問という、ゆったりとした日程です。

各国では、本連盟の友好団体会員が全力で歓迎してくれますし、民泊や諸視察も一般の旅行とは違い、友愛ならではの内容です。

◇期 間 昭和57年2月15日（月）～27日（土）（12泊13日）
（前日、2月14日に事前研修会を行ないます）

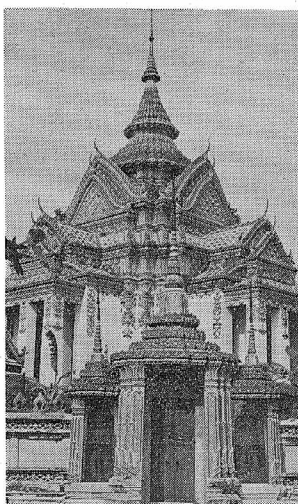
◇訪問国 インドネシア3泊（バリ島）、シンガポール4泊、タイ5泊
（バンコック、その他）

◇受入団体 (インドネシア) バリ青年クラブ、国際青少年センター・ロンボク
(シンガポール) シンガポール少年クラブ連合總會
(タイ) サイアム青年クラブ

◇参加費 21万円（航空運賃・宿泊・食事・視察と事前研修の費用等、団行動中の費用一切を含みます）

◇人 員 20名 ◇国 長 大塚利兵衛氏（本連盟相談役、評論家）
◇締 切 昭和56年12月26日（土）

問い合わせ 友愛青年連盟事務局 〒千112 東京都文京区音羽1-7-1
03-941-2801、943-1888



香り 男の存在感
夢を追っているのか 夢をつくっているのか
自分の生き方をしている男には主張がある



男性化粧品

メナード
エドラル
オーデトワレ

グリーンシプレーの香り

5.000円

市川染五郎

